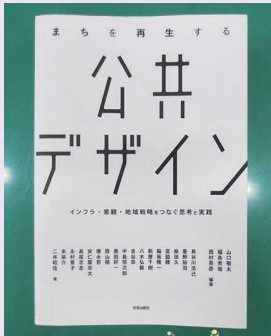




マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「景観否定派こそ読んで欲しい まちを再生する公共デザイン」
山口 敬太・福島 秀哉・西村 亮彦(編著) 他 学芸出版社



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



インフラにおける「景観」や「デザイン」と聞くと、何を想像するでしょうか。例えば、「景観なんてやって何のためになるの」と言う人がいるかもしれません。また、「景観といえば、歩道はとりあえず、インターロッキングでしょ」と考える人がいるかもしれません。

しかし、本書を読むと、これは全くの間違いであることがわかります。インフラのデザインとは、対象物のみならず外部空間、その基盤となる整備事業とその上位計画、さらに総合戦略など、より上位の問題を含めて検討します。このため、景観デザインにより、まちの再生など地域の課題解決が図られる事例が出てきています。

本書では、インフラのデザインと公共事業を軸に、地域課題の総合的解決への取り組みを「公共デザイン」と名付け、その考え方や課題、役割が議論され、最後に全国の事例が紹介されています。

地域の課題解決に悩んでいる方はぜひ読んでみてください。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

帝京大学 丹羽 彩奈



丹羽彩奈さん



講座の様子

平成30年度の講座に参加した帝京大学の丹羽彩奈です。講座講師である大下先生からのお誘いで講座を知りました。ゼミ長を引き受けメンバー全員の意見を引き出そうと努めていたものの、思うような成果が得られないで悩んでいた時のことでした。相手の意見を引き出し、話し合いを円滑に進める役割のファシリテーターの技術こそが、今の自分に必要だと確信をもちました。

初めて講座に参加した時は、周りが大人の方々ばかりだったので圧倒されてしまいました。チーム内で協力し合いながら意見を出し合うことで仲が深まり、回数を重ねる度に自分の意見に自信を持って発表することができました。この講座に参加して一番学んだことは、相手の意見を聞き出すだけでなく、最終的な目標の設定や時間配分を決める事で限りあるワークショップの時間を有意義に使うことです。目標設定が曖昧で時間内にまとめることができなかった私にとってのスキルアップになりました。

また、座学だけではなく地域を巡ることで、実際のワークショップを想定して学ぶことができることも魅力です。少しでもファシリテーターに興味がある方は、ぜひこの講座に参加され、魅力ある群馬県づくりに貢献いただくことを期待しています。

マーチィの掲示板

国土交通大学校へ行ってきました!

群馬県都市計画課まちづくり室景観形成係の高瀬です。

7月1日から7月12日までの間、国土交通大学校で実施された「良好な景観による地域活性化研修」に参加してきました。

この研修は自治体の景観・屋外広告物担当者向けに、大学の先生等各分野のスペシャリストから関係法令や実際の整備方法などについて講義を受けるもので、中には現地を実際に歩きながら行う講義もありました。

「景観」というと、人によって考え方が異なるから答えは無いと思われがちです。しかし、人が良いと思う景観に大きな差は無く、また良い景観と言われるものは全て論理的に説明ができるということを学びました。今までよくわかっていなかったことが、スルスルと紐解かれていくような感覚で、講義を聞いてとてもおもしろかったです。

研修の後半には今後の景観に関する課題について、グループ討議を行いました。ああでもない、こうでもないと考えをぶつけ合い、中身の濃い討論を行うことができました。最後に各グループの発表がありましたが、完成度の高い発表ばかりで、全体を通して様々な刺激を受けながら景観について学ぶことができました。



横浜市内での現地講義

